

春・夏学期					
	月	火	水	木	金
共通教育科目			人間学の考え方*3 (水1・5コマ)		
			人間学の話題*4 (水2・5コマ)		
専門科目 (2年生)					
専門科目 (3・4年生)			哲学演習Ⅰ(水3・奇数 年度)*5/ 哲学演習Ⅱ(水3・偶数 年度)*6		
		日本の現代思想*2 (火3)	比較文明学 (夏季集中)		哲学実験実習Ⅱ*8 卒業演習(4年生) (金3・4・5)
大学院 (修士課程)	比較思想史特講 (不開講)*1				
			比較文明学特定演習Ⅰ*7 (水5)		比較文明学特定研究 Ⅰ(修士)*8
大学院 (博士課程)			比較文明学特別演習Ⅰ*7 (水5)		比較文明学特別研究 Ⅰ(博士)*8 (金3・4・5)
他箇所/G30		Contemporary Japanese Thought*2 (火3)			
夏季集中	比較文明学(Aゾーン・唐沢太輔講師)*9				

秋・冬学期					
	月	火	水	木	金
共通教育科目			社会学概論(水2) 3回のみ		
専門科目 (2年生)		文明動態学*10 (火3)			哲学実験実習Ⅰ*8 哲学実験実習Ⅲ*8 卒業研究(4年生) (金3・4・5)
専門科目 (3・4年生)					
大学院 (修士課程)			社会理論特講*11 (水3)		
			比較文明学特定演習Ⅱ*6 (水5)		比較文明学特定研究 Ⅱ(修士課程)*8
大学院 (博士課程)			比較文明学特別演習Ⅱ*6 (水5)		比較文明学特別研究 Ⅱ(博士過程)*8 (金3・4・5)
他箇所/G30	倫理学Ⅱ 早稲田大学法 (月・3)				

- \*1 「比較思想史特講」（4年生/大学院生）の内容は、三つのテキスト『意識と生命』（野尻英一）、『闇への論理』（那須政玄）、『哲学の戦場』（那須政玄・野尻英一編）を購読し、近現代西洋哲学の基礎を習得する。大学院進学希望者、教職希望者にお勧め。「特講」なので大学院の授業だが、学部4年生希望者も所定の手続きにより履修することができる。【大学院教職科目】
- \*2 「日本の現代思想」とG30「Contemporary Japanese Thought」は合同授業。英語による演習となる。テキストは、*Contemporary Japanese Thought*, Edited by Richard Calichman, Columbia University Press, 2005. 【学部教職科目】
- \*3 「人間学の考え方」（1年生共通教育&人科専門科目）は、2022年度より「哲学の実験グループ」の村上靖彦、森田邦久、野尻英一の三名によるオムニバス形式となった（5回ずつ）。テーマは「時間」。野尻は真木悠介『時間の比較社会学』、ポストン『時間・労働・支配』などを素材にした授業をする。人間科学部専門科目でもあるので3・4年の人科生も所定の手続きにより専門科目の単位として履修することができる。ただし場所は豊中。
- \*4 「人間学の話」（1年生共通教育&人科専門科目）は、2022年度より「哲学の実験グループ」の村上靖彦、森田邦久、野尻英一の三名によるオムニバス形式となった（5回ずつ）。テーマは「生と死」。野尻は『マンガは哲学する』（永井均）をテキストにした講義をする。人間科学部専門科目でもあるので3・4年の人科生も所定の手続きにより専門科目の単位として履修することができる。ただし場所は豊中。
- \*5 「哲学演習Ⅰ」（3・4年生向け）は「表象文化とグローバリゼーション」が主題。テキストは東浩紀『動物化するポストモダン』、斉藤環『戦闘美少女の精神分析』、スーザン・ネイピア『現代日本のアニメ』、アン・アリスン『菊とポケモン』など。**野尻ゼミの表象文化論の入門となる内容なので、ゼミ3・4年生はなるべく取ると良い。隔年開講（奇数年度）。【学部教職科目】**
- \*6 「哲学演習Ⅱ」（3・4年生向け）は「表象文化から理解する哲学と精神分析理論の基礎」が主題。テキストには、スラヴォイ・ジジェク『ラカンはこう読み！』を用い、現代の社会や文化を対象として研究するために必要な哲学や精神分析理論の基礎を習得する。**野尻ゼミの表象文化論の基礎となる内容なので、ゼミ3・4年生はなるべく取ると良い。大学院生にもおすすめ。隔年開講（偶数年度）。**
- \*7 「比較文明学特定演習（修士）/特別演習（博士）Ⅰ・Ⅱ（大学院）」は、ヘーゲル『精神現象学』の講読。「特定演習（修士）Ⅰ・Ⅱ」は【大学院教職科目】。
- \*8 「哲学実験実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（2・3年生）は合同ゼミの時間とし、「卒業研究」（4年生）、「比較文明学特定研究」（修士）、「比較文明学特別研究」（博士）を兼ねる。前期後期ともに、3限読書会、4限研究発表、5限研究室メンバーの専用オフィスアワー（ゼミ生個別面談）の構成。
- \*9 「比較文明学」（3・4年生向け）は、2020年度は外部講師（唐澤太輔）による夏季集中講義。内容は近代文明批判とオルタナティブの模索。和辻哲郎、ハイデガー、キルケゴール、南方熊楠、華嚴経の思想などを取り上げる。唐澤太輔先生は、那須政玄門下で野尻の弟子にあたる。ヘーゲル、マルクス、ラカン、デリダでラインを形成する野尻とは別ラインの文明論を提供する。【学部教職科目】
- \*10 「文明動態学」（2年生向けを想定しているが、3・4年生、大学院生も積極的に取って良い。野尻ゼミの基本）は、文明論的な倫理学。内容は野尻による完全オリジナルコンテンツ。近現代西洋思想の基礎と現代社会論の融合。素材例は、中島みゆきとソクラテス、マトリックスとデカルト、宮沢賢治とカント、寅さんとヘーゲル、ガンダムとマルクスなど。比較文明学研究室の看板講義。
- \*11 「社会理論特講」（4年生/大学院生）の内容は、モイシェ・ポストン『時間・労働・社会』をテキストに用いる。内容はマルクス『資本論』を土台とした現代資本主義論。ポストンの時間論で資本論の基礎論理を捉える。「特講」なので大学院の授業だが、学部4年生希望者も所定の手続きにより履修することができる。【大学院教職科目】

それぞれの授業の紹介、扱うテキストなどについては、比較文明学研究室ホームページ「学部・大学院教育」の箇所でも説明している。

また何よりもシラバスで授業の構成について説明しているので、シラバスをよく読んでから履修を決めること。